

【 授業の概要 】

本単元では中学校へ入学して最初の説明的文章である『ダイコンは大きな根?』を教材として用いる。授業は、生徒自身のもつ課題解決を通して、他者へ伝える力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることを目標とする。

『ダイコンは大きな根?』は、『ちょっと立ち止まって』と併せてこれから3年間の説明的文章を学習していく上で、基礎的な内容を指導しながら、段落や構成といった学習をおさえることに無理のない教材である。

2つの説明的文章の学習を通して、説明的文章の読み方を理解しながら、筆者の見方・考え方について生徒に考えさせる機会としたい。

【 キーワード 】

・説明的文章 ・中心となる文、付加的な文 ・考えの形成、表現 ・課題解決 ・学習感想

1 単元名・目指す言語能力

文章の書かれ方に注目し、筆者の工夫点を考えよう。

～ 文章の内容や構成に注目し、自分のものの見方や考え方を広げる ～

【 指導事項 読むこと 中1 】

◎ C-オ 『ダイコンは大きな根?』に表れている筆者のものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げる。

(C-オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広くすること。)

○ C-イ 『ダイコンは大きな根?』の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、要旨をとらえる。

(C-イ 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。)

【 言語活動例 中1 】

・ 『ダイコンは大きな根?』の書かれについて、自分の考えを説明する。

(イ 文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。)

【 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 】

・ 筆者の文章の書き方の工夫点に注目し、文章中の語彙に関心をもつ。

((1) イ(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙について関心をもつこと。)

2 教材名

『ダイコンは大きな根?』 いながきひでひろ 稲垣栄洋・著
(光村図書 国語1 平成28年)

3 生徒の実態

国語の学習に対して意欲的な生徒が多い学級である。交流活動を授業や日頃の学級活動にも多く取り入れているので、グループなどの話し合いや考えの交流では自分の意見を相手に伝えようとする姿がみられる。しかし、全体での交流場面においては積極的に人に向けて発信することをあまり得意としない生徒もいるので、自分の考えを発信することに対しての抵抗感減らすような教師の指導が必要となる。

中学校へ入学し、初めての説明的文章を扱う単元となる。小学校までの説明的文章の学習を基にして、中学校での説明的文章の学習の導入となる学習としていく。また本単元での学習を通して、説明的文章の読みに加えて、書くことや話すことといった、自分の思いや考えを表出する上でどのようなことが必要となるのかということに気付く機会としていきたい。

4 指導の内容と言語活動、教材のかかわり

(1) 言語活動設定を通して知識・理解を活用させ、思考力、判断力、表現力等を育むための手だて

本教材である『ダイコンは大きな根?』は、稲垣栄洋『キャベツにだって花が咲く』(光文社 2008)を書き改めたものである。農学者である著者は、『キャベツにだって花が咲く』のプロローグで「私たちが知る野菜の姿は、彼らの持つ魅力のごくわずかな部分に過ぎないのです」、またエピローグで「野菜がそれだけもてはやされるということは、裏を返せば、それだけ野菜が日常から遠ざかり、特別なものになってしまったということなのかもしれません。」と述べている。筆者は野菜を食品としてだけでなく、植物として捉えなおしている。このような農学者としての野菜に対する見方や考え方を、自分で問いを提示し、その答えを提示する過程が読者にも伝わりやすい文章であると考ええる。

また、筆者の読者にわかりやすく伝えるための工夫を考えることにも適していると考ええる。『ダイコンは大きな根?』は全10段落で構成されている。序論で、「野菜は植物ですから」と、日常野菜として意識しているものを植物として捉えなおすための、導入が用いられている。

また、本論の中で2つの問い「ダイコンの白い部分はどの器官であるか」「なぜ味が違うのか」とその答えとなる根拠を示している。結論部の第10段落では「植物として観察してみると興味深い発見があります」と述べており、視点を変えることを読者に向けて提案している。

以上のことから『ダイコンは大きな根?』は、中学校学習指導要領「国語編」「C 読むこと」(2)内容①指導事項のイやオといった本単元で目指す言語能力の指導に適した教材であるといえる。また、先述の「視点を変えることを読者に向けて提案」という点においては、『ちよっと立ち止まって』も効果的であると考えられる。

そこで本授業では『ダイコンは大きな根?』の構成や、文章に表れている筆者のものの見方や考え方の工夫について、生徒が説明するという活動を設定する。

筆者が読者にわかりやすく説明するための工夫について、どのような表現や構成で文章を書いているかを考えていく。文章を要約し、中心となる文、付加的な文について理解し、その中心となる文について自分の考えをもち根拠を挙げた説明をする。そして、要約した文章と付加的なもの、つまり元の本文を比較する中で筆者がどのような工夫をして文章を書いているのかを考える。その活動を通して、説明的な文章の構成や表記を比較することになる。比較を通して、言葉の使い方や説明的な文章を読む際の筆者の考え方の工夫について着目できるよう

な姿勢を学習を終えたところで実感として身に付けさせたい。

また、本単元では教科書の単元で第一教材として掲載されている『ダイコンは大きな根?』を第二教材として掲載されている『ちょっと立ち止まって』の学習後に用いる。『ちょっと立ち止まって』の学習の中で、中学校学習指導要領「国語編」「C 読むこと」(2) 内容①指導事項のE「文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。」を中心とした学習を行う。そこで構成や段落の役割を学習した後に、また「視点を変えること」の内容を生徒に意識させた上での学習としていく。

(2) 本指導計画において意識させたい言語意識

- ・ 目的意識 … 筆者のものの見方や考え方がどのように書かれているかを考えるため
- ・ 相手意識 … 同じ文章を読んできた学級の友人に対して
- ・ 場面意識 … 文章に表れている工夫点に着目することを考える場面において
- ・ 方法意識 … 自分で見つけた筆者の工夫点を発表することを通して
- ・ 評価意識 … 論旨を捉えるための読み方を自分自身で見つけることができたか。

(3) 全体研究とのかかわり

○ 「言葉による見方・考え方」が働く学習課題の設定

言葉による見方・考え方のイメージとして「自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉え、その関係性を問い直して意味付けること」が挙げられている。本授業では「自分の思いや考えを深めるため」に、筆者の考えに即し、「野菜」と「植物」という言葉の関係性や「ダイコン」と「その他の野菜」の関係性を問い直し、筆者の工夫について考え、発表する活動を行う。

中心となる文と付加的な文の意味や構成について考え、筆者の工夫を読み取ることを通して、説明的な文章の書かれ方や読み方について自分自身の考えを広げる。

○ 「言葉による見方・考え方」を生徒に意図的に働かせるための手立て

- ・ 教師による教材研究(教材価値)と生徒の気づきをつなぐ課題の設定

生徒が課題意識をもち、主体的に作品を読み返すことにより、初読の感想との比較や他者との共通点・相違点に気づき深い学びへつながっていくと考える。交流の必要性を生徒が感じる学習課題、そして活動を意図的に仕組むことで、生徒の主体性や他者との交流の有用性が高まる活動として、以下の活動を設定した。

① 初読の感想を読み合い、課題を他者と共有する学習活動

- 他者との交流を通して、自分の疑問点や解消したいことを共有し、課題解決の自己決定感をもたせる。また、説明的文章を読み得たことを共有化することで読むことや知ることへの意欲を高める。

② 筆者のものの見方や考え方に即し、筆者の文章中の工夫について考え発表する学習活動

- 教材として用いる『ダイコンは大きな根?』の筆者の工夫や初読の感想から感じる読者の興味関心がわく理由について考え、それを自分で使うことで受動的な読みでなく、課題意識や積極性をもった読みへ変わると考える。また、他者への説明を通して、自分の得たことを活用する場面を設ける。

③ 他の書籍との比較を通して文章に用いられた工夫点を考える

- 文章中に書かれていることだけでなく、そこで得たことを手掛かりに他の書籍や情報に触れる機会を授業に取り入れる。具体的には、『ダイコンは大きな根?』の本文で中心として挙げられている「ダイコン」以外の野菜について生徒が触れる機会を設ける。図書館司書と連携し、他の植物や野菜の図鑑について触れる機会を設け、自分自身の考えをより広げたり、深めたりすることへつなげる。

○ 本単元における学習の成果や過程を振り返り、見とる工夫

学習課題に対しての見通しと振り返りを行うことは、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現には必要不可欠なものである。その中で、学習の振り返りを行う場面では、学習を通して「どのような力が身についたのか」また「どのような考えに触れたことが契機となり自分の考えが変容したか」を意識させていく。加えて、学習を通して「わかったこと」と「できた（これからできそうな）こと」を意識できるように指導する。具体的な発問として、「どのような工夫に注目・着目したか」ということを生徒に提示する。工夫について考えるために生徒の既知知識やその他の書籍や情報との比較をする中で、文章中の筆者のものの見方や考え方へ意識を向けていき、その論理操作について自分が解決した方法を表出させていきたい。そのため、ポートフォリオやワークシート、ノートの記述の仕方について、生徒自身が自分の学習過程が分かる指導をする。

5 日常の取り組み

○ 学習過程を意識させる

生徒に学習活動を意識させることは、授業に対しての構えをつくらせることができる。「気づく→考える→表現する」という小さな学習サイクルを計画的に仕組む。今年度も、昨年度に引き続き、ポートフォリオを使って、学習活動を振り返ることができるようにしている。

○ 交流を取り入れた授業

ファシリテーションの考え（他者との協働による知的相互作用の促進）を取り入れ、日々の学習の中で、自分1人で学習を完結させるのではなく、自分の考えを深めるために対話（他者との交流）を通して、自分の考えを表現し、共通点や相違点に気づき、もう一度考えるというサイクルを意識できる。

○ ワークシートを活用して、自分の考えを形成する活動

新聞記事を活用したワークシートを使い、社会や日常生活で起きている事柄に対して、自分の考えをもつことができるように、毎日取り組んでいる。国語科の授業と関係のある記事を使用し、事前学習にも活用している。

○ 漢字テスト（帯単元として）

毎時間、授業の始めの5分を利用して、漢字の学習を行っている。

○ 語彙を獲得するための手立て

生徒の語彙を獲得するための手立てとして、全学年において言葉を集めるためのワークシートに取り組んでいる。

6 指導計画と評価計画

(1) 単元の評価規準 (C 領域「読むこと」全60時間中の5時間)

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
①『ダイコンは大きな根?』に表れている筆者のものの見方や考え方に即し、文章の書かれ方の工夫点について根拠を挙げながら自分の考えを出そうとしている。	①『ダイコンは大きな根?』に表れている筆者のものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げている。(オ) ②『ダイコンは大きな根?』の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、論旨をとらえている。(イ)	①筆者の文章の書き方の工夫点に注目し、文章中の語彙に関心をもち文章を読んでいる。 (1) イ (ウ)

(2) 学習過程の概要

単元(教材)名		『ダイコンは大きな根?』 (5時間計画)				
言語活動例		ア 物語や小説などを読んで批評すること。				
指導事項		重点	学習活動	評価規準	時	
導入		文章の書かれ方に注目し、筆者の工夫点を考えよう。	・単元全体の流れを理解し、本単元の学習の見通しをもつ。 ・新出漢字や難解語句について調べる。(事前・家庭学習)			
ア	【語句の意味の理解】 文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解すること。		・『ダイコンは大きな根?』を通読し、初読の感想をもつ。 (共感・疑問・批判)	関①	1	
イ	【文章の解釈】 文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。		○	・初読の感想について交流する。 ・『ダイコンは大きな根?』を形式段落で分け、中心となる文と付加的な文について考えながら、要約する。 ・最終段落の中心文について、段落の働きや他の文章を選んだ生徒に対して説得力をもてるような根拠を考える。	読② 言①	2 3
ウ	【文章の解釈】 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。					
エ	【自分の考えの形成】 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えをもつこと。					
オ	【自分の考えの形成】 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。		◎	・筆者の文章中の工夫について考える。自分で見つけた文章の工夫点をまとめていき、全体で発表する。 ・学習感想を書く。(学習を通してわかったこと、できるようになったこと、考えたこと、工夫点)	読① 関①	4 5
カ	【読書と情報活用】 本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。			・教材以外の文章でどのような書かれ方をしているかという視点をもち読む。		4
関連する〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕		(1) イ (ウ) 説明する文章を書くために、多様な語句について理解を深め、文章中の語彙に関心をもつ。				

(3) 指導計画

		学習活動
事前		<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元全体の流れを理解し、本単元の学習の見通しをもつ。 ○ 新出漢字、新出音訓については事前学習。
第一次 出会う	1時 【課題設定】 【語句の意味の 理解】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品全体を通読し、初読の感想をもつ。(共感・疑問・批判) … 『ダイコンは大きな根?』を読んで知ったことは何か。どのようなことに興味をもったか。どのような点に疑問点をもったか。 ○ 形式段落を確認する。 … 全10段落 ○ 難語句について意味を調べる。
第二次 深める	2・3時 【文章の解釈】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 初読の感想を交流する。 … 共感・疑問・批判について他の生徒との共通点や相違点を確認する。 ○ 文章全体の構成について確認する。 … 1段落(序論) 2~9段落(本論) 10段落(結論) … それぞれの構成の確認を通して、説明的文章の構成について考える。 ○ 本文の論旨を確認するため、中心となる文・付加的な文を確認する。 … それぞれの形式段落において、段落内の文章の数を確認する。その後、「中心となる一文」はどれかということを考え、付加的な文との違いについて理解する。 … 本論の中心となる文について考え、学級を半分のグループに分けて中心となる文について考える。その際、根拠も明確にしながら考える。 ○ 最終段落の中心的な文について考える。 … 段落の働きについて着目しながら、最終段落の中心的な文について考える。この文章における「ダイコン」が具体例となり筆者の見方や考え方につながるものであることを理解する。
第三次 考える	4・5時 【自分の考えの 形成】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの中心となる文をつなげていき文章を要約する。その要約したものと、筆者の文章の違い、そこに表れている筆者の工夫について考える。 … 「図や写真」「表記」「科学・日常」「段落」などの助言を通して筆者の工夫について考える。そこから筆者が文章に表した文章の工夫について自分の考えをもつ。 ○ 筆者が文章に表したであろう工夫についてこれまでの学習をもとにした自分の考えについて交流する。1分間スピーチでグループ、全体で発表を行う。 ○ 学習後の感想を書き、初読の感想と比較しどのような読みを獲得できたか確認する。その際、どのような筆者の工夫について着目し学習をしたかという点で学習感想を書く。

7 本時の展開 (第三次 4時【4/5時間目】)

- (1) 日時 平成30年6月30日(土) 10:10 ~ 11:00
 (2) 場所 XXXXXXXXXX
 (3) 目標 筆者の文章中の工夫について考え、自分の考えを広げている。
 (4) 展開
 (第3次 第4時【 4/5時間目 】)

	学習活動	指導上の留意点	評価
つかむ	1 これまでの学習を振り返り、本時の目標を知る。(5分)	・前時までの学習を振り返り、筆者がどのような工夫をしているかという自分の考えをまとめていき、次時の交流へ向けて準備していくことを確認する。 「ダイコンは大きな根？」に表れた筆者の工夫点を考える。	
深める	2 前時までの学習内容を振り返り、内容面や構成面について、全体で確認をしていく。 (5分) 3 教科書 p329 を読み、説明的な文章の読み方を全体で確認した上で、筆者の文章の書かれ方の特徴について考える。 (20分) 4 小グループで、それぞれの筆者の工夫点について考えたことを交流する。 (15分)	・これまでの学習で考えてきたことをもとに、要約した文章ともとの文章を比較して、筆者のどのような工夫があると推察できるか考える。 ・教科書 p329 にある「説明的な文章を読むために」を参考としながら、筆者の文章の書かれ方について分析する。また、筆者の文章の書かれ方の特徴や工夫について自分で視点を置き、文章を読んでいく。 ・筆者の説明的文章の内容の伝え方や構成について、筆者の発想の工夫について推察できることを交流する。自分と違う観点で友人が工夫点を選んだ場合、その工夫点の着目の仕方について確認する。	関① 読①
考える	5 本時の学習を振り返り、本時の学習感想を書く。(5分)	・授業後の感想は、本時でわかったこと、できたこと、わからないこと、できないことという観点で感想を書く。	読① 関①

【 参考文献・資料 】

- ・ 「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策等について(答申)」 中央教育審議会 2016
- ・ 「中学校学習指導要領解説 国語編」 文部科学省 2008
- ・ 「中学校学習指導要領解説 国語編」 文部科学省 2017
- ・ 「国語1」 光村図書 2016
- ・ 「キャベツにだって花が咲く」 光文社 2008